

# 利用成果報告書

1 課題番号 R5-C21

2 報告者 黒川 峰夫 東京大学医学部内科系大学院

3 利用区分 成果公開有償利用

4 利用課題名 DNMT3A変異体強制発現マウスによる白血病発症メカニズムの解析

5 使用装置名 FACS Aria II, IIIu, IIIセルソーター

6 利用期間 令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日

7 利用成果・実績の概要 テトラサイクリン誘導性にDNMT3A変異体を発現するマウスの造血幹細胞に別のドライバー遺伝子を導入し、急性骨髄性白血病を誘導する。その後テトラサイクリンの投与を中止し、白血病維持が起こるかを検証する。

8 社会・経済への波及効果 難治性疾患である急性骨髄性白血病における新規病態の解明と新規治療法の提示ができる可能性がある。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
Analysis of the mechanism of acute myeloid leukemia maintenance by DNMT3A mutation	Michiaki Sato	The 2nd International Symposium on REPLICATION of NON GENOME	R6.6.21	国際学会

10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し